

## 平成 18 年度決算ハイライト

株式会社 三菱UFJフィナンシャル・グループ

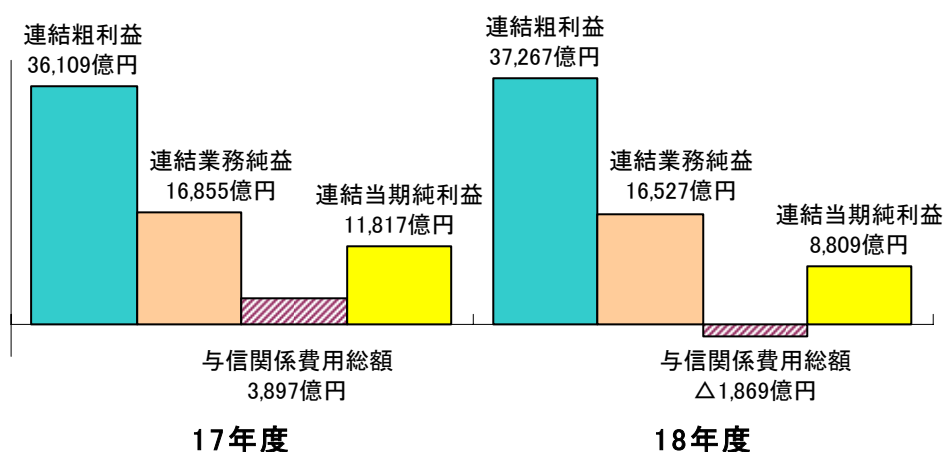
平成 19 年 5 月 23 日

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通し等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通し等を作成するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。

## I. 連結P/Lの状況

連結粗利益は、投信関連収益が好調だったことや、17年度下期に新規に連結した子会社の収益が18年度は通期で寄与したこと等により、前年度比1,158億円増加しました。一方、前記の連結要因等により、経費についても前年度比1,487億円増加したため、18年度の連結業務純益は、前年度比328億円減少し、1兆6,527億円となりました。

また、与信関係費用の総額が、前年度3,897億円の戻入益超であったのに対し、18年度は△1,869億円の費用となったこと等により、連結当期純利益は、前年度比3,007億円減少し、8,809億円となりました。



### 連結P/Lの状況

(単位: 億円)

	17年度	18年度	比較
1 連結粗利益 (信託勘定償却前)	36,109	37,267	1,158
2 資金利益	18,579	19,044	465
3 信託報酬 (信託勘定償却前)	1,475	1,530	55
4 役務取引等利益	10,997	11,586	589
5 特定取引利益+その他業務利益	5,057	5,106	48
6 営業費(△)	19,253	20,740	1,487
7 うちのれん償却	-	90	90
8 連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	16,855	16,527	△328
9 連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入・のれん償却前)	16,855	16,618	△237
10 信託勘定償却	△9	△1	8
11 与信関係費用(臨時損益)	△2,182	△1,961	221
12 株式等関係損益	609	1,271	662
13 持分法による投資損益	202	△806	△1,008
14 その他の臨時損益	△1,142	△459	682
15 経常利益	14,333	14,570	237
16 特別損益	6,342	516	△5,826
17 うち貸倒引当金戻入益	6,089	93	△5,996
18 法人税等+法人税等調整額(△)	7,863	5,288	△2,575
19 少数株主利益(△)	993	989	△4
20 当期純利益	11,817	8,809	△3,007
21 与信関係費用総額	3,897	△1,869	△5,766

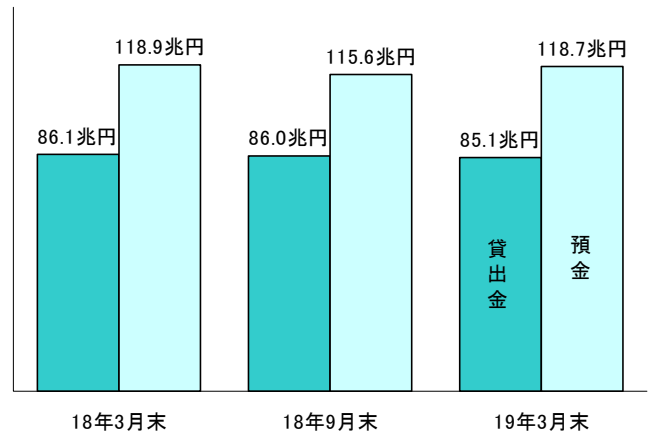
17年度は、MUFG及び旧UFJホールディングス合算の計数を表示しております。

## II. 連結B/Sの状況

### ◇ 貸出金・預金

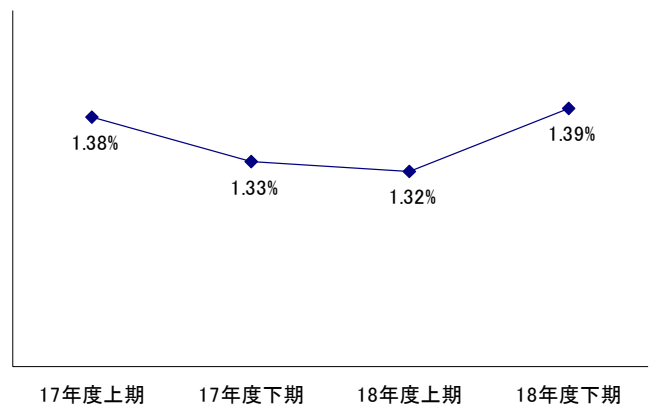
貸出金(含む信託勘定)は、海外貸出が増加したものの、国内店貸出の減少を主因として、18年3月末比0.9兆円減少(18年9月末比0.8兆円減少)し85.1兆円となりました。

預金は、18年3月末比略横這い(18年9月末比3.1兆円増加)の、118.7兆円となりました。



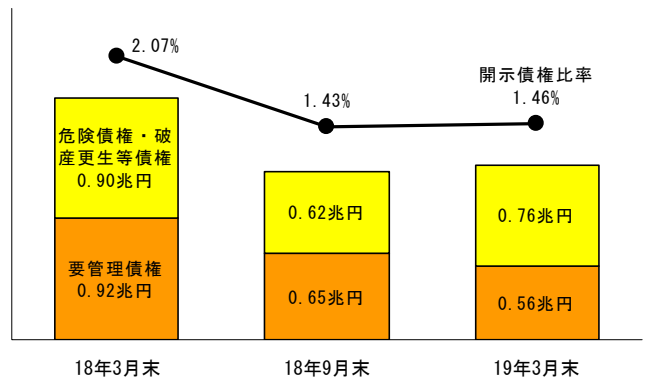
### ◇ 預貸金利回差(子銀行単体合算、国内業務)

政策金利の引き上げ等により、貸出金利回と預金等利回の利回差は、18年度下期1.39%と18年度上期の1.32%から拡大に転じました。



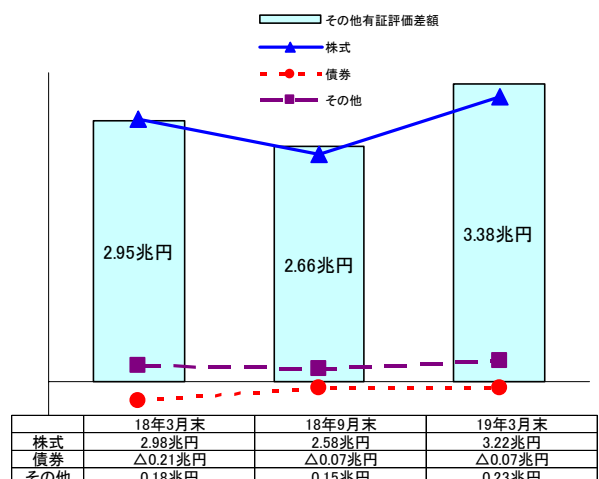
### ◇ 不良債権(子銀行単体合算)

金融再生法に基づく開示債権比率は、業況回復に伴う債務者区分上位遷移や、処理の進捗等により、18年3月末比0.60ポイント低下(18年9月末比略横這い)の1.46%となりました。



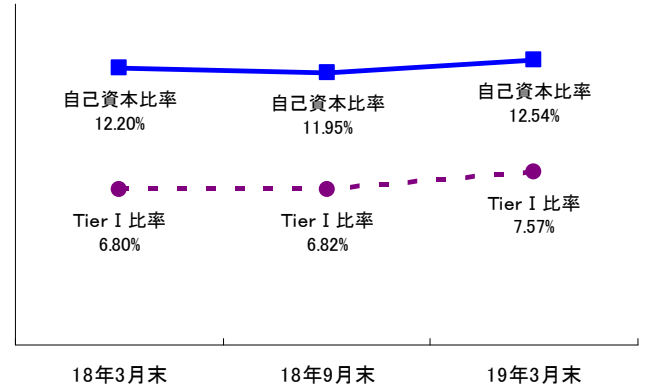
### ◇ 有価証券評価損益

株式の含み益の増加および、債券含み損の減少等により、有価証券の含み損益合計(その他有価証券評価差額)は18年3月末比0.43兆円改善(18年9月末比0.71兆円改善)し、3.38兆円の含み益超となりました。



◇ 連結自己資本比率(速報値)

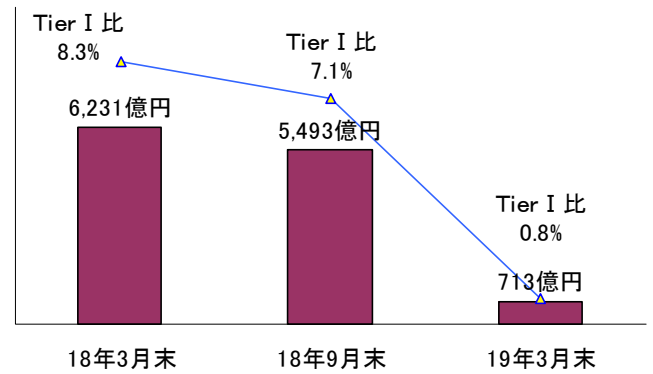
19年3月末から、新しい自己資本比率規制(Basel II)が適用されますが、連結自己資本比率は12.54%、Tier I比率7.57%となり、財務基盤はさらに強固になっております。



注:18年3月末及び18年9月末は旧自己資本比率規制、19年3月末は新自己資本比率規制(Basel II)に基づく比率を記載しております。

◇ 繰延税金資産

繰延税金資産の純額は、利益計上による欠損金解消の進捗や、有価証券の含み益に係る繰延税金負債の増加等により、18年3月末比5,517億円減少(18年9月末比4,779億円減少)し、713億円となり、Tier Iに占める割合は0.8%となりました。



### Ⅲ. 平成 19 年度予想

19年度の連結当期純利益は、業務純益(子銀行単体合算)が18年度比約900億円増加しますが、与信関係費用の増加、株式売却益、償却債権取立益等の減少が見込まれることから、18年度比約800億円減少の、8,000億円を予想しています。

配当は、18年度の年間配当11,000円(期末配当6,000円)、19年度につきましては、年間配当14,000円(うち中間配当7,000円、期末配当7,000円)を予定しております。詳細につきましては、5月23日付ニュースリリース「普通株式に係る平成19年3月期末配当および平成20年3月期年間配当予想について」をご参照下さい。

#### 【三菱UFJフィナンシャル・グループ連結】 (単位:億円)

	平成19年度 予想	中間期 予想	平成18年度 実績	中間期 実績
1 経常収益	67,000	33,000	60,940	28,402
2 経常利益	15,000	7,000	14,570	6,635
3 当期純利益	8,000	3,500	8,809	5,072
4 普通株式1株あたり配当金(円)	年間 14,000	中間 7,000	年間 11,000	中間 5,000

#### 【子銀行単体合算】 (単位:億円)

	平成19年度 予想	中間期 予想	平成18年度 実績	中間期 実績
5 業務純益 <sup>一般貸倒引当金繰入 信託勘定償却前</sup>	12,650	5,650	11,740	5,489
6 三菱東京UFJ銀行	10,250	4,550	8,997	4,261
7 三菱UFJ信託銀行	2,400	1,100	2,743	1,228
8 経常利益	10,950	4,900	11,129	4,856
9 三菱東京UFJ銀行	8,850	3,950	8,345	3,583
10 三菱UFJ信託銀行	2,100	950	2,783	1,272
11 当期純利益	6,550	2,950	8,809	5,354
12 三菱東京UFJ銀行	5,300	2,350	6,692	4,229
13 三菱UFJ信託銀行	1,250	600	2,116	1,125

連結P/Lの状況

(単位:億円)

		17年度	18年度	比較
1	連結粗利益 =2+6	36,099	37,266	1,166
2	連結粗利益 (信託勘定償却前)	36,109	37,267	1,158
3	資金利益	18,579	19,044	465
4	信託報酬 =5+6	1,466	1,529	63
5	信託報酬 (信託勘定償却前)	1,475	1,530	55
6	信託勘定償却	△9	△1	8
7	役務取引等利益	10,997	11,586	589
8	特定取引利益+その他業務利益	5,057	5,106	48
9	特定取引利益	1,615	3,150	1,534
10	その他業務利益	3,441	1,955	△1,485
11	うち外為売買損益	3,412	2,207	△1,204
12	うち国債等債券関係損益	△294	△188	106
13	うち金融派生商品損益(単体合算)	113	△487	△601
14	営業費(△)	19,253	20,740	1,487
15	うち人件費(単体合算)	4,140	4,151	11
16	うち物件費(単体合算)	7,240	7,701	460
17	うち税金(単体合算)	691	687	△4
18	うちのれん償却	-	90	90
19	一般貸倒引当金繰入額	(5,264)	(1,584)	(△3,680)
20	連結業務純益 =1-14+19	16,846	16,526	△320
21	連結業務純益 =2-14 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	16,855	16,527	△328
22	連結業務純益 =2-14+18 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入・のれん償却前)	16,855	16,618	△237
23	与信関係費用(臨時損益)	△2,182	△1,961	221
24	貸出金償却	△1,537	△1,933	△396
25	個別貸倒引当金繰入	(819)	(△1,491)	(△2,310)
26	特定海外債権引当勘定繰入額	(5)	(0)	(△5)
27	その他の与信関係費用	△645	△27	617
28	株式等関係損益	609	1,271	662
29	株式等売却損益	966	1,659	692
30	株式等償却	△357	△387	△30
31	持分法による投資損益	202	△806	△1,008
32	その他の臨時損益	△1,142	△459	682
33	うちのれん償却	△162	32	195
34	経常利益	14,333	14,570	237
35	特別損益	6,342	516	△5,826
36	うち償却債権取立益	1,008	1,112	103
37	うち貸倒引当金戻入益	6,089	93	△5,996
38	うち減損損失	△437	△186	250
39	税金等調整前当期純利益	20,675	15,087	△5,588
40	法人税等+法人税等調整額(△)	7,863	5,288	△2,575
41	法人税等(△)	1,409	1,150	△259
42	法人税等調整額(△)	6,453	4,137	△2,316
43	少数株主利益(△)	993	989	△4
44	当期純利益	11,817	8,809	△3,007
45	貸倒引当金繰入総額 =19+25+26	6,089	93	△5,996
46	与信関係費用総額 =6+24+27+45	3,897	△1,869	△5,766

<主要グループ企業>

	粗利益	経費	実質業務純益	当期純利益	
47	三菱東京UFJ銀行(単体)	19,566	10,569	8,997	6,692
48	三菱UFJ信託銀行(単体)	4,713	1,971	2,743	2,116
49	三菱UFJ証券(連結)	2,485	1,837	648	444
50	ユニオン・バンカール・コーポレーション(連結)	3,206	2,037	1,168	888
51	三菱UFJニコス(連結)(旧UFJニコス)	3,492	1,995	1,497	△522

17年度は、MUFG及び旧UFJホールディングス合算の計数を表示しております。

連結B/Sの状況

(単位:億円)

	科目	17年度末	18年度末	比較
1	うち貸出金 (銀行勘定連結)	857,631	848,319	△9,311
2	貸出金 (銀行勘定連結・信託勘定合算)	861,131	851,507	△9,624
3	うち国内貸出 (除く子銀行の特設会社宛貸出金)	709,212	677,462	△31,750
4	うち住宅ローン	182,447	171,901	△10,545
5	うち海外支店	86,059	101,310	15,250
6	うち国内子会社 (三菱UFJニコス(旧UFJニコス))	9,472	10,558	1,085
7	うち海外子会社 (エニオン・バンガロール・コーポレーション)	39,898	43,967	4,068
8	有価証券	485,089	482,076	△3,013
9	うち株式	84,125	84,011	△114
10	うち債券	312,384	288,419	△23,964
11	うち国債	252,761	229,173	△23,588
12	その他	88,579	109,644	21,065
13	預金	1,189,880	1,187,086	△2,794
14	うち単体合算	1,129,818	1,120,413	△9,405
15	うち個人預金	602,178	608,583	6,405
16	うち法人預金その他	427,194	408,402	△18,792
17	うち海外支店	92,704	98,630	5,925

有価証券の評価損益

(単位:億円)

	科目	17年度末	18年度末	比較
18	その他有価証券評価差額	29,532	33,842	4,309
19	うち株式	29,808	32,213	2,405
20	うち債券	△2,101	△703	1,397
21	うち国債	△1,883	△658	1,225
22	その他	1,825	2,333	507

連結自己資本比率(速報)

	科目	17年度末	18年度末	比較
23	連結自己資本比率	12.20%	12.54%	0.33%
24	Tier I 比率	6.80%	7.57%	0.76%

(注)18年度末は、新自己資本比率規制(Basel II)に基づく比率を記載しております。

金融再生法に基づく資産査定状況(グループ銀行単体合算、銀行・信託勘定合計)

(金融再生法に基づく資産査定の増減状況)

	17年度末	18年度中間期末	18年度末	比較	
				17年度末比	18年度中間期末比
25	1,523	1,250	1,159	△363	△90
26	7,494	4,959	6,479	△1,015	1,519
27	9,241	6,569	5,620	△3,621	△948
28	18,259	12,778	13,258	△5,000	480
29	880,982	887,408	905,940	24,958	18,532
30	2.07%	1.43%	1.46%	△0.60%	0.02%

(自己査定における各債務者区分の引当率の推移)

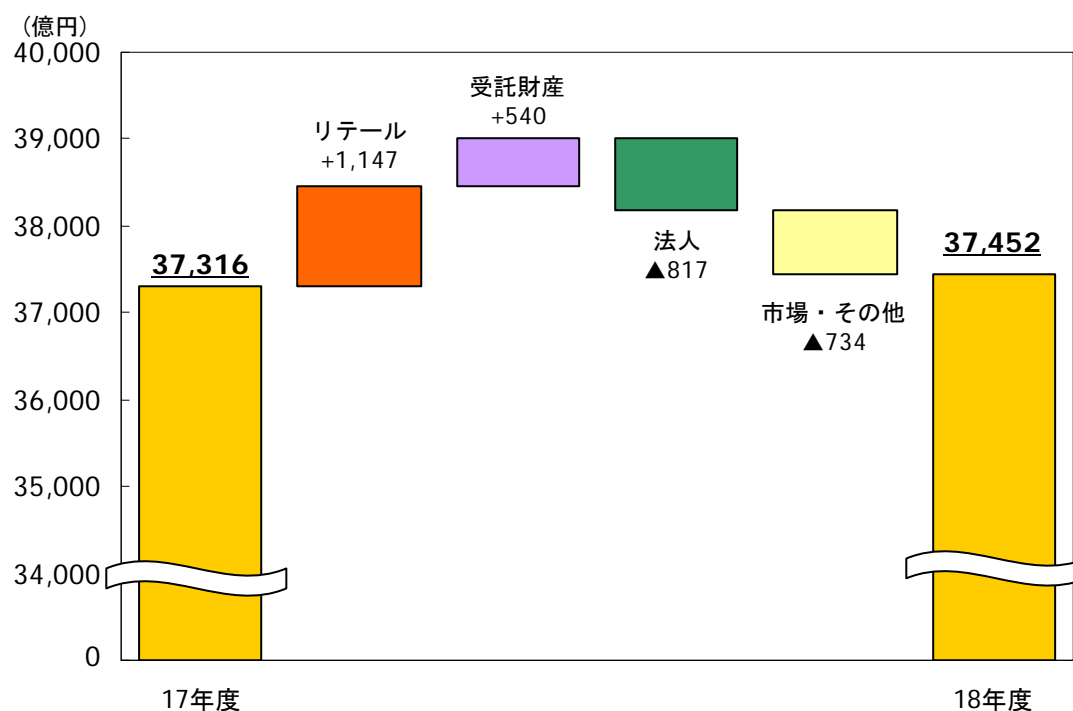
	17年度末	18年度中間期末	18年度末	比較	
				17年度末比	18年度中間期末比
31	0.19%	0.17%	0.17%	△0.02%	-
32	10.86%	10.19%	7.90%	△2.95%	△2.28%
33	5.17%	6.40%	5.20%	0.02%	△1.19%
34	25.17%	25.24%	24.45%	△0.71%	△0.79%
35	69.39%	65.61%	72.29%	2.90%	6.67%

(注)1.対象科目は、金融再生法ベース。18年度中間期末以前は、貸出金、外国為替、支払承諾見返、貸付有価証券、与信に関わる仮払金、未収利息の6科目。18年度末は、保証付私募債を加えた7科目。

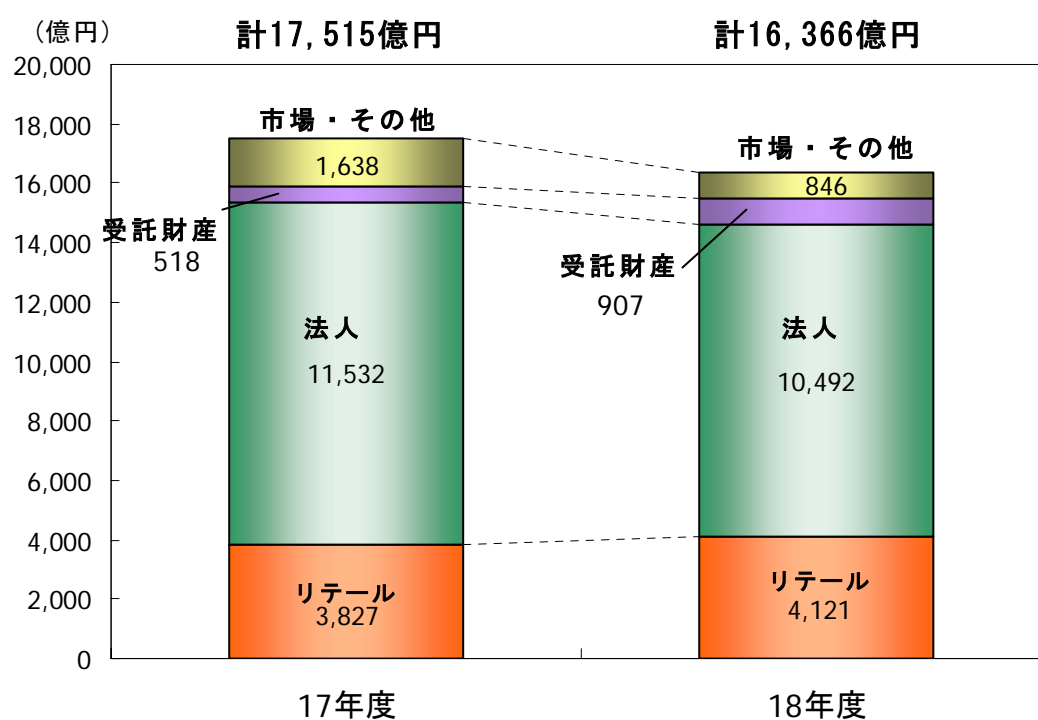
2.引当率は、分離子会社を合算し、信託勘定を除いて算出した計数を掲載。

参考：部門別損益(管理ベース)

【部門別粗利益の増減】



【部門別営業純益推移】



※営業純益は、連結業務純益の内部取引消去等連結調整前の計数（管理ベース、のれん償却前）